

環 創 み 第 1025 号
令和 4 年 10 月 20 日

各自治会・町内会長様

横浜市環境創造局
みどりアップ推進課長 坂井 和洋
政策課みどり政策調整担当課長 岩間 隆男
横浜市財政局
税務課長 江口 昌克

横浜みどりアップ計画[2019-2023]
3 か年[2019(令和元)～2021(令和3)年度]の実績概要リーフレット作成の
ご報告等について

- (1) 横浜みどりアップ計画[2019-2023] 3 か年[2019(令和元)～2021(令和3)年度]の
実績概要リーフレット作成のご報告について【資料1】
- (2) 「これからの緑の取組」素案の市民意見募集について(12月下旬から実施予定)
【参考資料】

【問合せ】

資料1に関すること

- ☐ 横浜みどりアップ計画の実績に関すること
環境創造局みどりアップ推進課 TEL:671-2712 FAX:224-6627
- ☐ 横浜みどりアップ計画に関すること
環境創造局政策課 TEL:671-4214 FAX:550-4093
- ☐ 横浜みどり税に関すること
財政局税務課 TEL:671-2253 FAX:641-2775

参考資料に関すること

- ☐ 「これからの緑の取組」素案の市民意見募集に関すること
環境創造局政策課 TEL:671-4214 FAX:550-4093

各自治会・町内会長様

横浜市環境創造局

みどりアップ推進課長 坂井 和洋

横浜市財政局

税務課長 江口 昌克

横浜みどりアップ計画[2019-2023]

3 か年[2019(令和元)～2021(令和3)年度]の実績概要リーフレット作成のご報告について

横浜みどりアップ計画につきましては、平成21年度から、横浜みどり税を財源の一部として活用させていただきながら、推進しています。令和元年4月からは3期目となる5か年計画に取り組んでいるところです。

このたび、3 か年[2019(令和元)～2021(令和3)年度]を振り返り、取組の成果を事業報告書にまとめましたのでご報告いたします。報告書全体は市ホームページや、公共施設等で閲覧ができます。また、概要のリーフレットと、横浜みどり税のチラシについては、市連会及び区連会での説明後に、単位自治会町内会長あてに各1部送付させていただきます。

今後も、「横浜みどりアップ計画」を着実に推進してまいりますので、御理解・御協力をよろしくお願い申し上げます。

【配布資料】

- 1 横浜みどりアップ計画[2019-2023]
3 か年[2019(令和元)～2021(令和3)年度]の実績概要リーフレット【別紙1】
- 2 横浜みどり税のチラシ【別紙2】
- 3 【参考資料】3 か年[2019(令和元)～2021(令和3)年度]の
区別実績



【別紙1】



【別紙2】

*別紙1「3 か年[2019(令和元)～2021(令和3)年度]の実績概要リーフレット」及び別紙2「横浜みどり税のチラシ」については、例年、各自治会・町内会の皆様へ班回覧をお願いしておりましたが、新型コロナウイルスの影響により、令和2年度から回覧を見合わせています。PRボックス、市役所及び区役所の窓口等への配架は例年通り行います。

【問合せ】

□横浜みどりアップ計画の実績に関すること

環境創造局みどりアップ推進課 TEL: 671-2712 FAX: 224-6627

□横浜みどりアップ計画に関すること

環境創造局政策課 TEL: 671-4214 FAX: 550-4093

□横浜みどり税に関すること

財政局税務課 TEL: 671-2253 FAX: 641-2775

＼市民の皆様の参加をお待ちしています／
みどりアップを体感しよう

横浜みどりアップ計画では、市民の皆様に緑を身近に感じていただけるよう、緑にふれる空間づくりやイベント開催を多数行っています。また、市民の皆様の緑や花を守り増やす取組をサポートする制度を設けています。ぜひ皆様も緑にふれ、横浜のみどりアップを体感してください。

＼みどりアップを楽しもう！／
イベント・体験のスポットをご紹介します

詳しくはHPをご覧ください



ほかにも、18区役所で様々な取組を行っています



森にふれる

散策など森にふれる
イベントやスポット
ウェルカムセンター（5か所）
市民の森／ふれあいの樹林など
市民の森ガイドマップ／森づくり体験会

横浜自然観察の森（栄区）

農にふれる

農畜産物の直売など農にふれる
イベントやスポット
収穫体験農園／市民農園
直売所／マルシェ
よこはま地産地消サポート店

農ある横浜あぐりツアー（泉区）

緑や花にふれる

まち歩きなど緑や花にふれる
イベントやスポット
花の見どころカレンダー
ガーデンネックレス横浜／里山ガーデン
フェスタ／都心臨海部等の緑花

港の見える丘公園（中区）

＼みどりアップの活動に参加しよう！／
市民の皆様が活用できる制度を一部ご紹介します

詳しくはHPをご覧ください



	制度名	制度内容	募集時期
団体・個人向け	① 地域緑のまちづくり	地域が主体となり、住宅地や商店街、オフィス街で緑を創出する計画をつくり、市と協働で緑化を進めます（費用助成あり）	4～6月
	② 人生記念樹の配布	出生、入学、還暦などの人生の節目を記念して、市内で生産された苗木を希望者に無料で配布（年2回）します	通年
	③ 名木古木の保存	古くから親しまれてきた故事、来歴などのある樹木を指定して所有者の維持管理を費用助成などで支援します	指定申請：例年6月まで 助成申請：例年1月まで
	④ 森づくり活動団体への支援	市民の森や都市公園内の樹林で活動する団体を対象に森づくりに必要なサポート（道具の貸出しなど）を行います	お問い合わせください
	⑤ 森づくりボランティア	森づくり活動団体が市と協働で行っている市内の森を育む体験会や研修会に参加できます	登録は通年
事業者・学校等向け	⑥ 地産地消ビジネス創出支援事業	地産地消に関するビジネスプランをつくる講座を開催し、選定された事業に対して費用を補助します	11月（予定）
	⑦ 子どもを育む空間での緑の創出・育成	園庭・校庭の芝生化やビオトープの整備、花壇づくり、屋上緑化などの費用助成や技術サポートを行います	例年1月末まで
	⑧ 公開性のある緑空間の創出支援	駅前や都心部などの多くの人が訪れる公開性のある民有地（市街化調整区域を除く）において、法令等で定める基準以上の緑化を行う場合に費用を助成します	例年1月末まで

横浜みどりアップ計画市民推進会議の活動

横浜みどりアップ計画市民推進会議は、公募市民や学識経験者などから構成されている附属機関です。横浜みどりアップ計画の取組の検証や、現地調査を行い、評価・提案を報告書にまとめているほか、広報誌「みどりアップAction」を発行しています。



詳しくはHPをご覧ください



「みどりアップAction」

お問合せ 「横浜みどりアップ計画」について
 環境創造局政策課 TEL.045-671-4214 FAX.045-550-4093

「横浜みどりアップ計画」の各事業について
 環境創造局みどりアップ推進課 TEL.045-671-2712 FAX.045-224-6627

「横浜みどり税」について
 【個人市民税】各区役所税務課または 財政局税務課 TEL.045-671-2253 FAX.045-641-2775
 【法人市民税】 財政局法人課税課 TEL.045-671-4481 FAX.045-210-0481

実績報告書はHPをご覧ください
 区ごとの実績もご覧いただけます

横浜みどりアップ計画



横浜みどり税を財源の一部に活用

横浜みどりアップ計画 [2019-2023]

3か年 の実績 概要 [2019(令和元)～2021(令和3)年度の実績]



横浜の緑、育っています！

折本農業専用地区（都筑区）

森を育む



森づくり体験会（青葉区）

農を感じる場をつくる



みなとみらい農家朝市（西区）

緑や花をつくる



山下公園（中区）

緑の減少に歯止めをかけ、「緑豊かなまち横浜」を次世代に継承するため、「横浜みどり税」を財源の一部として活用しながら、「横浜みどりアップ計画[2019-2023]」を進めています。このリーフレットは、2019(令和元)～2021(令和3)年度に実施した事業の実績を、概要としてまとめたものです。





横浜みどりアップ計画 3か年 の実績 概要 [2019(令和元)～2021(令和3)年度の実績]

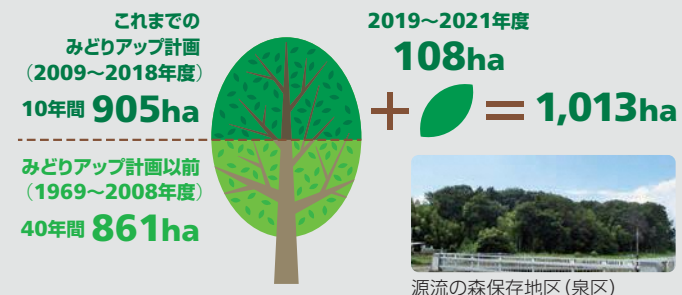
計画の柱1

市民とともに次世代につなぐ 森を育む

樹林地の保全の進展

3か年で108haの樹林地を新たに保全指定しました。

緑地保全制度による指定の実績



- ▶ 緑地保全制度による新規指定 **108.0ha**
- ▶ 市による買取り **57.7ha**

市民が森に親しむための取組の展開

市民が気軽に森の中に入り、森に親しむことができるように、市民の森などの整備を進めました。

- ▶ 保全した樹林地の整備 **227か所**



上川井市民の森(旭区)

保全した樹林地の良好な維持管理や安全の確保を市民協働で推進

保全した市管理の樹林地を良好かつ安全に維持管理するとともに、森づくり活動団体に対する支援や、民有樹林地所有者に対しての維持管理費用の一部助成を行いました。



森づくり活動団体への支援(磯子区)

- ▶ 森の維持管理(市管理地) **樹林地:464か所、公園:112か所**
- ▶ 維持管理の助成(民有地) **414件**

コロナ禍での工夫

コロナ禍で身近な自然にふれあうニーズが高まる中、外出の機会が減った子どもたちが参加できる自然の中でのびのびと過ごす森のイベントを多く開催しました。



よこはま森の楽校(緑区)



計画の柱3

市民が実感できる 緑や花をつくる

市民が実感できる緑と花の空間づくりの推進

公共施設や公園、保育園など、市民の身近な場所で実感できる緑を創出しました。



港北区庁舎(港北区)



小学校の花壇整備(南区)

- ▶ 公共施設・公有地での緑の創出 **21か所**
- ▶ 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出 **131か所**

緑や花による街の賑わいづくりの推進

多くの市民が集まる都心部の公共空間などで、緑や花による空間演出を集中的に展開し、街の魅力の向上、賑わいづくりを進めています。

- ▶ 都心臨海部等の緑花による魅力ある空間づくりと維持管理 **44か所**



グランモール公園(西区)

全区での市民や企業との協働による緑と花の取組の展開

オープンガーデンなどの市民が緑や花に親しむ取組を各区で推進しました。併せて、取組の成果をガーデンネックレス横浜の中で発信し、市民や地域・企業等の関心の高まりへとつなげました。



地域の花いっぱいにつながる取組(栄区)



緑や花を身近に感じる各区の取組(鶴見区)

- ▶ 緑や花を身近に感じる各区の取組 **18区で推進**

緑花による魅力ある空間づくり

山下公園で市民参加の球根ミックス花壇の講習会を行うとともに、市内の1,000か所を超える公園で市民による花壇づくりを展開しています。



市民連携花壇講座(中区)



計画の柱2

市民が身近に 農を感じる場をつくる

良好な農景観の保全の推進

市内の水田面積の約9割を保全し、農地縁辺部の草刈りや植栽等により良好な農景観を維持・形成しました。



水田の保全(戸塚区)

- ▶ 水田保全面積 **112.2ha**



農地縁辺部への植栽(金沢区)

地産地消の拡大

市民が身近なところで地産地消を実感できるよう、直売所・青空市等の支援等を行いました。



青空市・マルシェ等(磯子区)



横浜FCホームゲームにおける地産地消イベント(神奈川区)

- ▶ 直売所・青空市等の支援 **133件**

農とふれあう場や機会の増加

市民が気軽に農とふれあうために様々なニーズに合わせた農園の開設を進めました。



農園付公園(瀬谷区)



市民農園(港南区)



収穫体験農園(神奈川区)

- ▶ 様々なニーズに合わせた農園の開設 **12.5ha**

横浜農場

市内産農畜産物のブランド化を進め、その魅力を発信するため、「横浜農場」を活用した統一的なPRや、都心臨海部での展開などを重点的に進めています。

横浜農場とは?



横浜農場Instagram



効果的な 広報の展開

様々な手法を用いて、幅広い年齢層にみどりアップ計画を知っていただけるよう広報を展開しています。

- 広報よこはま等への記事掲載
- PR動画の放映
- メールマガジンやSNS等による情報発信
- 実績リーフレットの配布
- 取組の実施箇所への現地表示看板の設置
- 横浜みどり税の広報
- ロゴ・マスコットキャラクターを活用したPR



計画を解説するアニメーションをSNSで発信



横浜市役所アトリウムでのPR動画放映

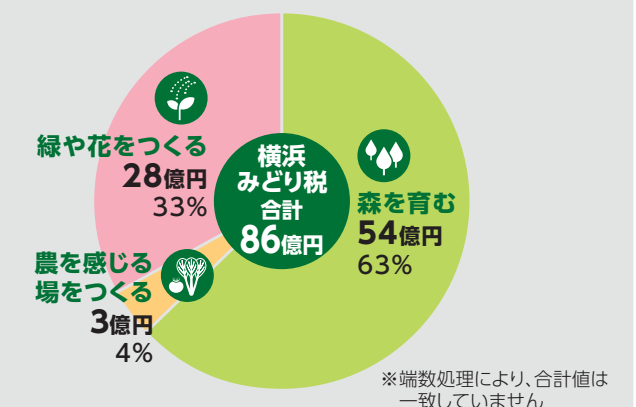


公園花壇での現地表示プレートの設置

計画の事業費と横浜みどり税(3か年の累計)

2019(令和元)～2021(令和3)年度の事業費286億円のうち、横浜みどり税を86億円充当し、活用させていただきました。

計画の柱ごとの活用額



横浜みどり税の使い道

- 樹林地・農地の確実な担保
- 身近な緑化の推進
- 維持管理の充実によるみどりの質の向上
- ボランティアなど市民参画の促進につながる事業

横浜みどり税の課税方式

- 【個人】 市民税の均等割に年間900円を上乗せ
※所得が一定金額以下で市民税均等割が課税されない方を除く
- 【法人】 市民税の年間均等割額の9%相当額を上乗せ

横浜みどり税

「横浜みどり税」は
「横浜みどりアップ計画」を進めていくために
ご負担いただいています。

緑豊かなまち横浜を次世代に継承することは重要な課題です。また、緑は一度失われると取り戻すことが困難です。

横浜市では、緑を守り、つくり、育む取組を進める「横浜みどりアップ計画」の重要な財源の一部として、平成21年度から市民の皆様にご負担いただいています。

いただいた「横浜みどり税」は、樹林地・農地の確実な担保、身近な緑化の推進などに活用しています。

横浜みどり税の
税額

個人市民税均等割に年間 **900 円** を上乗せ

※法人の場合は、年間均等割額の9%相当額を上乗せ

※課税年度は、令和5年度までです。

横浜みどり税の
使いみち

- 1 樹林地・農地の確実な担保
- 2 身近な緑化の推進
- 3 維持管理の充実によるみどりの質の向上
- 4 ボランティアなど市民参画の促進につながる事業



横浜みどりアップ 葉っぱー

横浜みどりアップ計画 [2019-2023]

横浜みどりアップ計画



計画の理念

みんなで育む みどり豊かな美しい街 横浜

5か年の目標

- ・緑の減少に歯止めをかけ、総量の維持を目指します
- ・地域特性に応じた緑の保全・創出・維持管理の充実により緑の質を高めます
- ・市民と緑との関わりを増やし、緑とともにある豊かな暮らしを実現します



計画の柱1

市民とともに

次世代につなぐ森を育む

5か年の主な取組

- 300haの樹林地を新規指定
- 指定した樹林地における維持管理の支援
- 森に関わるきっかけとなるイベントや広報を実施



保全した市民の森

計画の柱2

市民が身近に

農を感じる場をつくる

5か年の主な取組

- 水田の継続的な保全を支援
- 様々な農園を開設するなど、農とふれあう機会を提供
- 市民や企業と連携した地産地消の推進



保全した水田

計画の柱3

市民が実感できる

緑や花をつくる

5か年の主な取組

- 地域で愛されている並木を再生
- 地域緑のまちづくりや地域に根差した各区での取組を推進
- 緑や花による魅力ある空間づくりを推進



魅力ある空間づくり

この3つの計画の柱と合わせ、効果的な広報の展開に取り組みます



森林環境税（国税）と横浜みどり税



国の森林環境税と横浜みどり税はどう違うの？



目的と使いみちが異なります。

森林環境税は、林業が成り立たない地方の山間部の森林整備や、国産木材の利用促進を主な目的として創設されました。横浜市では、木材利用の推進を図るほか、今後本格化する学校建替事業の財源として活用していきます。

横浜みどり税は、市内の緑の保全・創造を目的としたものであり、樹林地の買い取りや、まちなかでの緑の創出などに活用しています。森林環境税と横浜みどり税は、目的と使いみちが異なります。

●森林環境税（国税）・森林環境譲与税について

趣旨(目的)	わが国の温室効果ガス排出削減目標の達成や災害防止を図るための地方財源を安定的に確保するため
課税手法・税率	年間 1,000 円を個人住民税と併せて賦課徴収
課税期間	令和 6 年度から
市町村への譲与	国が令和元年度から一定の基準で譲与（令和 6 年度までは、地方公共団体金融機構の準備金を活用）
使いみち	間伐や人材育成・担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発等の森林整備及びその促進に関する費用

※このほか、神奈川県では、水源環境保全・再生のために、個人県民税に対する超過課税を実施しています。

【お問い合わせ】

●「横浜みどり税」について

▶ 財政局税務課

電話：045-671-2253

FAX：045-641-2775

●「横浜みどりアップ計画 [2019-2023]」について

▶ 環境創造局政策課

電話：045-671-4214

FAX：045-550-4093

●「横浜みどりアップ計画 [2019-2023]」の各事業について

▶ 環境創造局みどりアップ推進課

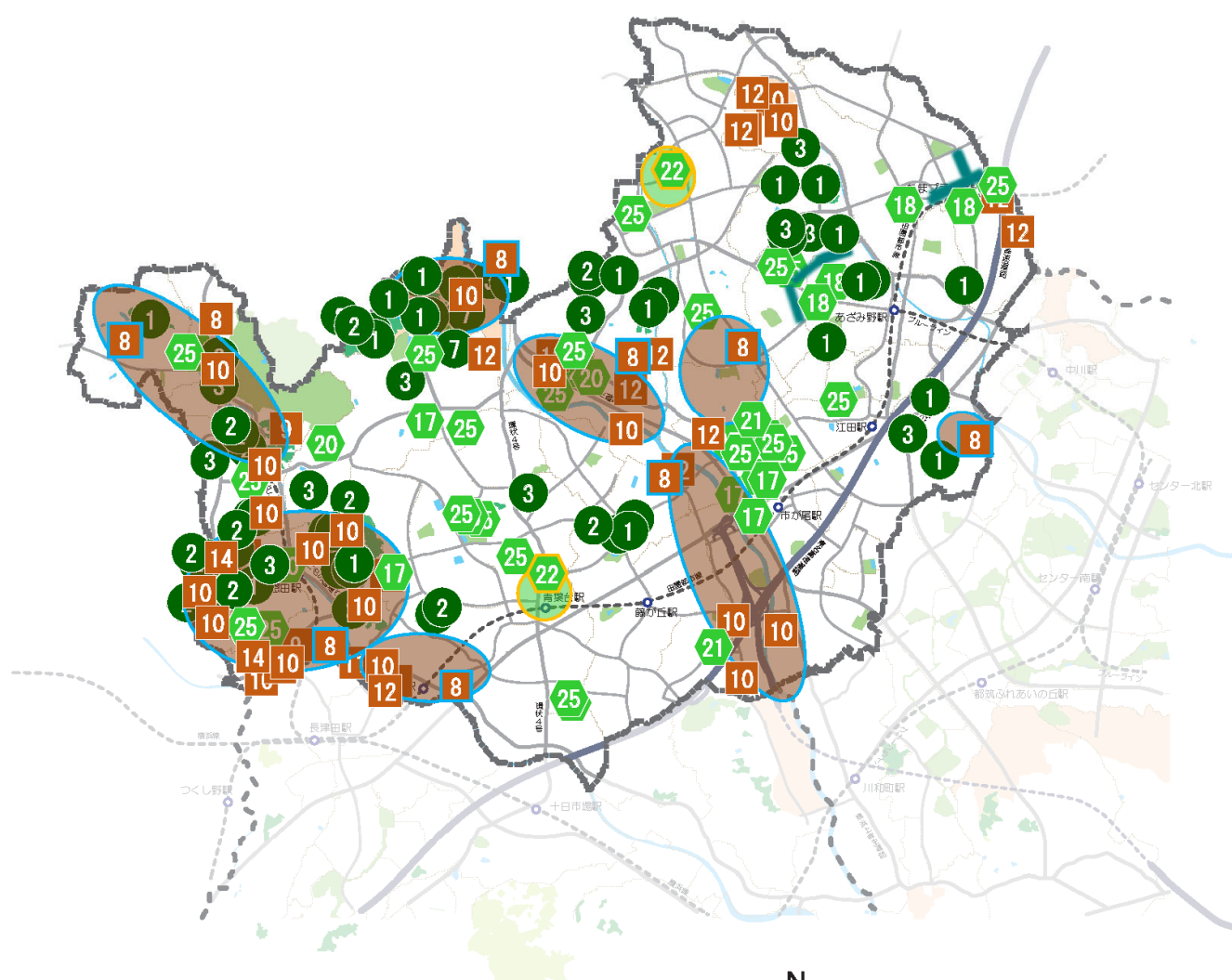
電話：045-671-2712

FAX：045-224-6627

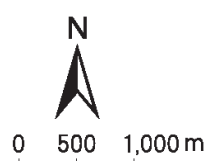
青葉区

主な実績

- ① 緑地保全制度による新規指定 7.95ha
- ⑧ 水田の保全 38.49ha
- ②② 地域緑のまちづくり（新規） 2 地区



〈凡例〉	特別緑地保全地区
● 次世代につなぐ森を育む	市民の森・ふれあいの樹林
■ 農を感じる場をつくる	公園緑地
◆ 実感できる緑や花をつくる	農業専用地区
(凡例内の番号は、 取組番号を示します)	主な道路
	高速道路
	鉄道・鉄道駅



計画の柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

1 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り

○緑地保全制度による新規指定 7.95ha

・特別緑地保全地区・近郊緑地特別保全地区

2020 年度 2.7ha 恩田町特別緑地保全地区（指定拡大）、寺家町居谷戸特別緑地保全地区

2021 年度 2.5ha 寺家町居谷戸特別緑地保全地区（指定拡大）

・緑地保存地区

2019 年度 0.03ha あざみ野四丁目、新石川二丁目

2020 年度 0.02ha あざみ野四丁目

2021 年度 1.5ha あざみ野一丁目、あざみ野二丁目

・源流の森保存地区

2019 年度 0.3ha 鉄町

2020 年度 0.9ha 荏田町（2か所）、恩田町、寺家町

・その他

2021 年度 3.6ha 青葉鴨志田西地区

○市による買取り

・特別緑地保全地区・近郊緑地特別保全地区

2019 年度 2 地区 恩田東部特別緑地保全地区、奈良町西ノ谷特別緑地保全地区

2020 年度 6 地区 恩田町特別緑地保全地区、恩田東部特別緑地保全地区、鉄町下ノ谷戸特別緑地保全地区、寺家特別緑地保全地区、寺家町居谷戸特別緑地保全地区、元石川町平崎北特別緑地保全地区

2021 年度 1 地区 寺家町居谷戸特別緑地保全地区

○保全した樹林地の整備 8 か所

2019 年度 1 か所 恩田東部特別緑地保全地区

2020 年度 3 か所 恩田東部特別緑地保全地区、元石川町平崎特別緑地保全地区、もえぎ野ふれあいの樹林

2021 年度 4 か所 恩田東部特別緑地保全地区、鉄町富士塚台特別緑地保全地区、寺家町居谷戸特別緑地保全地区、もえぎ野ふれあいの樹林

2 森の多様な機能に着目した森づくりの推進

○森の維持管理 22 箇所

・維持管理（樹林地）

2019 年度 5 箇所 寺家ふるさとの森、もえぎ野ふれあいの樹林、榎が丘緑地、恩田緑地、恩田町九郎治谷緑地

2020 年度 7 箇所 鉄町富士塚台特別緑地保全地区、（仮称）恩田市民の森、寺家ふるさとの森、もえぎ野ふれあいの樹林、榎が丘緑地、恩田緑地、恩田町九郎治谷緑地

2021 年度 7 箇所 鉄町富士塚台特別緑地保全地区、（仮称）恩田市民の森、寺家ふるさとの森、もえぎ野ふれあいの樹林、榎が丘緑地、恩田緑地、恩田町九郎治谷緑地

・維持管理（公園）

2019 年度 1 箇所 奈良山公園

2020 年度 1 箇所 奈良山公園

2021 年度 1 箇所 奈良山公園

3 指定した樹林地における維持管理の支援

○維持管理の助成 24 件

2019 年度 9 件 あざみ野四丁目、恩田町、寺家町、すみよし台、たちばな台二丁目、奈良町（3件）、奈良町四丁目

2020 年度 12 件 あざみ野四丁目、荏田町（4件）、恩田町、鴨志田町、寺家町、奈良四丁目、奈良町（2件）、元石川町

2021 年度 3 件 あざみ野四丁目、恩田町、鉄町

7 森に関する情報発信

○ウェルカムセンター周辺の緑を活用したイベント等

2019 年度 寺家ふるさと村四季の家

2020 年度 寺家ふるさと村四季の家

2021 年度 寺家ふるさと村四季の家

計画の柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる

8 水田の保全

○水田保全面積 38.49ha

2019 年度	37.96ha	市ヶ尾町、荏田町、大場町、恩田町、上谷本町、鉄町、寺家町、 下谷本町、田奈町、奈良町
2020 年度	38.27ha	市ヶ尾町、荏田町、大場町、恩田町、上谷本町、鉄町、寺家町、 下谷本町、田奈町、奈良町
2021 年度	38.49ha	市ヶ尾町、荏田町、大場町、恩田町、上谷本町、鉄町、寺家町、 下谷本町、田奈町、奈良町

○水源・水路の確保 3 箇所

2019 年度 2 箇所 苗万坂水利組合、恩田水利組合

2020 年度 1 箇所 田奈地区水利・耕作組合連絡協議会（杉山耕作組合）

9 特定農業用施設保全契約の締結

○特定農業用施設保全契約の締結 2 件

2019 年度 2 件 恩田町、奈良町

10 農景観を良好に維持する活動の支援

○まとまりのある農地を良好に維持する団体の活動への支援

・集団農地維持 127.9ha

2019 年度 120.6ha 杉山耕作組合、奈良堰下水利組合、白山谷戸水利組合、鴨志田町上耕地水利組合、じじ池水利組合、宮前水利組合、苗万坂水利組合、仲居水利組合、鍛冶谷戸耕作組合、下市ヶ尾水利組合、上谷本地区農用地利用改善組合、恩田水利組合、上和田堰水利組合、鉄大場市ヶ尾水利組合、保木農用地利用改善組合、番匠谷かんがい組合、寺家ふるさと村体験農業振興組合

2020 年度 121.9ha 杉山耕作組合、奈良堰下水利組合、白山谷戸水利組合、じじ池水利組合、宮前水利組合、苗万坂水利組合、仲居水利組合、鍛冶谷戸耕作組合、下市ヶ尾水利組合、上谷本地区農用地利用改善組合、恩田水利組合、上和田堰水利組合、鉄大場市ヶ尾水利組合、保木農用地利用改善組合、番匠谷かんがい組合、寺家ふるさと村体験農業振興組合

2021 年度 127.9ha 杉山耕作組合、奈良堰下水利組合、白山谷戸水利組合、じじ池水利組合、宮前水利組合、苗万坂水利組合、仲居水利組合、鍛冶谷戸耕作組合、下市ヶ尾水利組合、上谷本地区農用地利用改善組合、恩田水利組合、上和田堰水利組合、鉄大場市ヶ尾水利組合、保木農用地利用改善組合、番匠谷かんがい組合、寺家ふるさと村体験農業振興組合

・農地縁辺部への植栽 3 件

2019 年度 1 件 田奈恵みの里推進委員会（緑区・青葉区）

2020 年度 1 件 田奈恵みの里推進委員会（緑区・青葉区）

2021 年度 1 件 田奈恵みの里推進委員会（緑区・青葉区）

・土砂流出防止対策 1 件

2019 年度 1 件 保木農用地利用改善組合

○周辺環境に配慮した活動への支援

・牧草等による環境対策 0.90ha

2019 年度 0.08ha 恩田町

2020 年度 0.37ha 元石川町（2か所）

2021 年度 0.45ha 恩田町、元石川町（2か所）

11 多様な主体による農地の利用促進

○遊休農地の復元支援 0.20ha

2019 年度 0.20ha 恩田町

12 様々な市民ニーズに合わせた農園の開設

○様々なニーズに合わせた農園の開設 1.25ha

・収穫体験農園

2020 年度 0.29ha 鉄町、元石川町

2021 年度 0.45ha 鴨志田町、市ケ尾町、元石川町

・市民農園

2019 年度 0.08ha あかね台一丁目

2020 年度 0.29ha 上谷本町、鉄町（2か所）、新石川四丁目（2か所）

2021 年度 0.14ha 田奈町、元石川町

14 地産地消にふれる機会の拡大

○直売所・青空市等の支援 2 件

・直売所・加工所

2021 年度 2 件 恩田町（2 件）

計画の柱3 市民が実感できる緑や花をつくる

17 公共施設・公有地での緑の創出・育成

○緑の創出 2 か所

2021 年度 2 か所 市ケ尾第三公園、松風台第三公園

○緑の維持管理 5 か所

2019 年度 3 か所 青葉区庁舎、青葉消防署、鴨志田消防出張所

2020 年度 1 か所 青葉区庁舎

2021 年度 1 か所 青葉区庁舎

18 街路樹による良好な景観の創出・育成

○並木の再生

2019 年度 1 路線 あざみ野中学校通り（整備中）

2020 年度 2 路線 あざみ野中学校通り（整備中）、たまプラーザ駅周辺（整備中）

2021 年度 2 路線 あざみ野中学校通り（整備中）、たまプラーザ駅周辺（整備完了）

○空き樹の補植

2020 年度 高木 32 本、低木 113 本

2021 年度 高木 21 本、低木 8 本

○良好な維持管理

2019 年度 美しが丘西第296号線・黒須田第199号線（すすき野）、美しが丘第162号線（山内地区センター通り）ほか 計2,075本

2020 年度 黒須田第133号線・寺家第7号線（もみの木台～あざみ野駅）、新横浜元石川線（美しが丘公園～あざみ野駅）ほか 計1,765本

2021 年度 美しが丘西第296号線・黒須田第199号線（すすき野）、美しが丘第162号線（山内地区センター通り）ほか 計2,082本

20 建築物緑化保全契約の締結

○建築物緑化保全契約の締結 3 件

2019 年度 2 件 あかね台一丁目、奈良町

2020 年度 1 件 鉄町

21 名木古木の保存

○名木古木の保存

・維持管理の助成

2021 年度 2 本 鉄町、千草台

22 地域緑のまちづくり

○地域緑のまちづくり事業に関する協定の締結 2 地区

・新規

2020 年度 1 地区 すすき野三丁目地区

2021 年度 1 地区 青葉台地区

・継続

2021 年度 1 地区 すすき野三丁目地区

23 地域に根差した緑や花の楽しみづくり

○緑や花を身近に感じる各区の取組

2019 年度 地元NPOと連携した花と緑の風土づくり・普及啓発（フラワーダイアログ）に関するプログラム

2020 年度 地元NPOと連携した花と緑の風土づくり・普及啓発（フラワーダイアログ）に関するプログラム

2021 年度 地元 NPO と連携した花と緑の風土づくり・普及啓発（フラワーダイアログ）に関するプログラム

○地域の花いっぱいにつながる取組

2019 年度 花の種の配布、花苗などの配布（みたけ台公園ほか 17 か所）

2020 年度 球根などの配布（青葉台第三公園ほか 93 か所）

2021 年度 球根などの配布（青葉台公園ほか 106 か所）

24 人生記念樹の配布

○人生記念樹の配布 2,670 本

2019 年度 845 本

2020 年度 888 本

2021 年度 937 本

※過年度の報告書から本数を修正しました。

25 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成

○緑の創出 16 か所

2019 年度 4 か所 荏田保育園、青葉台小学校、あざみ野第一小学校、黒須田小学校

2020 年度 5 か所 荏田北保育園、青葉台小学校、市ケ尾小学校、奈良の丘小学校、あかね台中学校

2021 年度 7 か所 荏田北保育園、すすぎ野保育園、青葉台小学校、あざみ野第一小学校、市ケ尾小学校、青葉台中学校、あかね台中学校

○緑の維持管理 15 か所

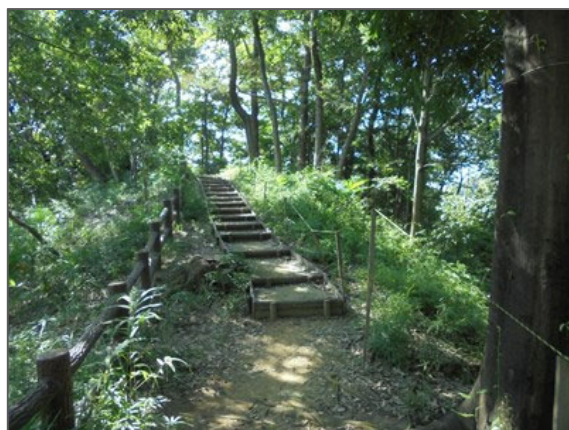
2019 年度 6 か所 美しが丘保育園、荏田保育園、奈良保育園、鉄小学校、つつじが丘小学校、鴨志田中学校

2020 年度 4 か所 荏田保育園、鉄小学校、つつじが丘小学校、鴨志田中学校

2021 年度 5 か所 美しが丘保育園、荏田保育園、奈良保育園、鉄小学校、鴨志田中学校



1 緑地保全制度による新規指定
(寺家町居谷戸特別緑地保全地区)



2 森の維持管理
(奈良山公園)



8 水田の保全
(田奈町)



12 収穫体験農園の開設
(鴨志田町)



23 緑や花を身近に感じる各区の取組
(フラワーダイアログあおば)



25 保育園での緑の創出・育成
(荏田北保育園)

5 各区の実績
青葉区



「これからの緑の取組」素案の市民意見募集について（12月下旬から実施予定）

横浜市では、緑の減少に歯止めをかけ、「緑豊かなまち横浜」を次世代に継承するため、財源の一部に「横浜みどり税」を活用し、令和5年度末を計画期間とする「横浜みどりアップ計画」に取り組んでいます。

緑の保全や創造は、長い時間をかけて継続的に取り組む必要があることから、本市では、これまでの取組の成果を踏まえ、令和6年度以降に重点的に取り組む「これからの緑の取組」について検討を進めています。

今後「これからの緑の取組」素案をとりまとめ、12月に公表するとともに市民の皆様への意見募集を予定しています。なお、素案の内容や意見募集の期間等は、横浜市ホームページ、広報よこはま等で改めてお知らせします。

○ スケジュール（予定）

令和4年12月下旬 「これからの緑の取組」素案の公表、市民意見募集の実施

意見募集の方法

素案（概要版）及び意見募集用紙を各区役所や市民情報センター、駅・主要な公共施設のPRボックスに配架するとともに、横浜市ホームページに掲載予定です。

【期 間】 令和4年12月下旬 ～ 令和5年1月下旬

【提出方法】 郵送・FAX・インターネット

※素案（本編）は、意見募集期間中に以下の場所での閲覧を予定しています。

- ①各区役所
- ②市民情報センター（市庁舎3階）
- ③横浜市環境創造局のウェブサイト

【「これからの緑の取組」に関するお問合せ先】

環境創造局政策課

TEL：(671)4214 FAX：(550)4093

E-mail：ks-mimiplan@city.yokohama.jp